

韓国文化論Ⅱ

科目ナンバリング LIG-102
選択 2単位

李 英蘭

1. 授業の概要(ねらい)

この授業の目的は、春期に学んだ韓国の社会と文化についての基礎的な事に加え、韓国に対する理解を一層深めることである。ある国の社会や文化を理解するためには、歴史理解は欠かせない。そのため、秋期の「韓国の社会と文化Ⅱ」の前半では、韓国の現代史を中心に概説し、歴史から見た韓国社会に対する理解を深める。また後半では、韓国映画やK-Pop等の大衆文化についても概観する。授業は基本的に講義形式になるが、映画やドラマ、ドキュメンタリー等の映像資料も適宜利用する。

2. 授業の到達目標

- ①韓国の歴史・社会・文化について基礎的な事を理解する。
- ②韓国を客観的に観察できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

平常点:50% 期末試験:50%(総合評価60%以上を合格点とする)

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

5. 準備学修の内容

授業開始前に前回の授業内容を確認すること。

6. その他履修上の注意事項

- ①欠席をしないこと。
3分の1以上欠席した場合、特別な事情がない限り、評価の対象とならない。
※オンライン授業のため、期限内に課題を提出した場合のみ、「出席」と認める。
- ②積極的に授業に参加すること。
- ③期末試験未受験の場合、自動的に「不合格」となる。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 韓国現代史概観
- 【第3回】 朝鮮戦争①
- 【第4回】 朝鮮戦争②
- 【第5回】 南北関係
- 【第6回】 民主化運動①
- 【第7回】 民主化運動②
- 【第8回】 映像資料①
- 【第9回】 映像資料②
- 【第10回】 Olympicと国際イベント
- 【第11回】 韓国の世界遺産と観光地
- 【第12回】 韓国の大衆文化①(映画・ドラマ)
- 【第13回】 韓国の大衆文化②(K-Pop)
- 【第14回】 韓国の言語文化(言葉から見た韓国と日本)
- 【第15回】 期末試験とまとめ

*進度や内容の変更、調整することがある。